

タイ国洪水災害に伴う弊社現地事業所の被害状況について

タイ国においては今年 7 月よりの連続的な降雨と平野で勾配が無く水はけの悪い地形が災いし、国土の広範囲が洪水被災を受ける状況に至っており、ニュースなどを通じ皆様も既にご存知の通りです。

このタイ国洪水災害の弊社現地事業所〔ヤマトエスロン（タイランド）(株)〕への影響について昨日（10 月 31 日夕刻現在）の状況をお知らせします。

ヤマトエスロン（タイランド）(株)は、バンコクから南東に 36 km 離れたチャチュンサオ県ウエルグロー工業団地に位置しておりますが、既に被災したバンコク都などと比べ比較的海抜が高く、洪水被害を受けにくい東部側に立地し、距離も離れているため、幸いにも昨日現在、洪水による直接的な工場・設備や従業員に対する被害を被っておりません。また浸水に至るような周辺河川の水位上昇などの兆候もありません。

一部サプライヤー様の被災による部材の調達に影響が出ており、一部のお得意先様につきましては代替部材への切替等、製品供給について調整のお願いを申し上げご迷惑をお掛けしております。ただし、その他の原料・部材・副資材の調達に関する障害や従業員の出勤困難など操業の支障となる様な間接的被害も被っておらずほぼ通常通りの操業を継続しております。

またバンコク市内に居住しておりました駐在員は既に現状安全な地域に避難の上、通常通り日々出勤し、帯同家族は既に日本へ一時帰国しております。

物流面でも、混雑と一部輸入制限のあるバンコク港を避け現状正常な運営状態にあるレムチャバン港を拠点に輸出入のハンドリングを行っておりますので、特に支障は発生しておりません。

工場においては浸水対策として、土嚢や浸水防止壁の設営、浸水した場合の多台数の排水ポンプ設置、1F 荷物（金型・製品・原料等）の上階への移動、緊急連絡網の整備、被災対応チームの編成等基本的な浸水に対する防衛体制を構築済みです。

今後の動向については天災ゆえ現時点での確実な予測は困難ながら状況に変化がありました場合は改めましてお知らせ致します。

以上